

特別支援学級（自・情）第6学年体育科学習指導案

日時 令和3年10月8日（金）5校時

場所 小学校 体育館

児童 6年生男子 1名

（交流学級6年男子5名女子13名 計19名）

指導者 教諭

1 単元の見どころ

(1) 表現の行い方を理解するとともに、個人やグループの特徴を生かして、表したい感じを表現することができるようにする。 【知識及び技能】

(2) 基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現する。また、友だちの動きの良さや気づき、考えたことを友だちに伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】

(3) 簡単なきまりを守り、友だちとともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

2 単元の見どころ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①表現の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②はげしい感じや急変する感じの動きで踊ることができる。 ③表現したい感じを仲間とともに踊ることができる。	①友だちの踊りを見て、表現のよさや課題に気付くことができる。 ②表したい感じの動きになっているかをグループやクラス全体で見合い、良い点を伝えている。	①表したい感じやイメージを表現する運動に進んで取り組もうとしている。 ②友だちの動きのよさを取り入れようとしている。 ③グループ活動の際、助け合うことができる。

3 支援について

本学級児童は、表現運動はどちらかといえば好きな方であるが、事前の練習時間をとらずに即興的にたくさんの人の前で表現することはあまり得意ではない。

友だちと一緒に楽しく自信をもって表現活動に参加するための支援を次のように行う。

①事前に単元の流れや目当てを確認し、見通しをもって参加できるようにする。

②事前に支援学級で基本的な動きや、ウォーミングアップ体操の練習を行い、友だちと一緒に自信をもって踊ることができるようにする。

③授業の中で、参考になる動きやよい動きの動画を見て、ポイントを確認する。

④自立活動の時間には、表現することに対する抵抗感をなくすために心を解放する時間や体ほぐしの運動を行う。

⑤自立活動の時間には、友だちとのコミュニケーションの取り方やアドバイスの受け方を考える時間をとる。困った時に助けを求めてよいことや、関わり合う時の口調や表情も大事なことについても触れる。

⑥音楽や総合の時間には、いろいろなリズムに合わせて体を動かしたり打楽器を打ったりする。

⑦国語の時間には、始め、中、終わりの3つの場面で時間の流れに沿った話に触れる。

4 本時の指導

(1) 目標

友達と関わりながら課題に合ったよい動きに気づき、まねたり考えたりしながら、一緒に楽しく身体を動かすことができる。 【思考、判断、表現】

(2) 展開

段階	主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点・支援 ◇評価の観点 ☆期待する子どもの姿 ◎校内研究との関連
導入 9分	1 整列・服装確認・あいさつ 2 ウォーミングアップ(活動①) (1) やってみよう準備体操をみんなで踊る。 (2) 8844221111のリズムに合わせてグループごとに踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の題材に関わる動きや準備体操の動画を見せ、集団の中でも臆することなく参加できるようにする。 ・学習の流れを確認し、見通しをもたせる。 ・友だちの動きや様子を観察させてから動きをまねできるように活動の順番は後の方にしてもらう。
展開 30分	3 学習課題を把握する。 (1) 学習課題をつかむ。 課題の把握→既習の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 力の変化を生かし、花火を表現して楽しもう！ </div> 【題材】「花火」 (2) 教師の働きかけで動きながら、イメージをつかむ。 4 学習課題の解決 (1) グループごとにひとながれの動きを考えて表現する。(活動②-1) (2) グループ順に互いの動きを見合い、キーワードに基づいて 互いの良い点を伝え合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> グループ数は3つ (6人、6人、7人) 例) Aグループ発表→B.Cグループがまねをしながら体感、Aの良さを見つける。 </div> (3) アドバイスや、他のグループを参考にして再考し、ひとながれの動きを考えて表現する。(活動②-1) (4) グループ順に互いの動きを見合い、キーワードに基づいて互いに良い点を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の確認は、本時に関わる部分を重点的に扱う。 【キーワード：力の変化、強弱、緩急】 ・一度で指示が通らない場合、記憶できない場合を想定し、方法、隊形、キーワードなどをスケッチブック等書き留めておいて、必要に応じて確かめられるようにする。 ・実際に身体を動かしながら相談させる。 ・他のグループと一緒に動きながら、そのグループの動きを体感する。 ◎キーワードに基づき、他のグループの良い点に気付いて伝えようとしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ☆グループや友達の良い動き、特に強弱について気づき、自分の動きに取り入れようとしている。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループに認めてもらった点をさらに改善させたり、他のグループを見てまねしてみたい点を取り入れたりさせる。 ・1回目との変化に注目して見合わせる。 ◇友だちのやりとりを見て良さを見つけ、一緒に楽しく身体を動かすことができたか。 【思・判・表】
終末 6分	5 学習の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・カードに書く。 ・発表する。 6 整理運動 7 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の頑張りを見つけられたか。 ・友だちから学んだことや前の自分よりできるようになったことに着目させて振り返りをして、自己肯定感をもたせる。